



① 人にやさしく  
 ② 自信をもって  
 ③ ふるさとを愛し  
 ④ たくましく

合い言葉

みんなで笑顔

## 新年明けましておめでとうございます。

2026年がスタートし、比地小学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。

本校の合い言葉「みんなでえがお」を大切にしながら、友だちと支え合い、学び合う毎日をつくっていきます。一人一人が安心して挑戦できる学校を、教職員一同力を合わせて進めてまいります。本年も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

右の絵は、子どもたちに版画の指導をしてくださっている安藤秀信氏作の、今年の干支の午（うま）にちなんだ版画です。タイトルは「お堂の探検」で、観音様の頭上に馬が描かれています。安藤様、毎年素敵な版画のプレゼントをありがとうございます。



## 地震発生時の対応

地震などの自然災害は、いつどこで起きてもおかしくない状況にあります。1月6日には、香川県で震度4の地震が発生しました。発生を防ぐことはできませんが、備えによって被害を軽減することができます。学校で行っているデジ防災や避難訓練を思い出して、万が一の事態に備えましょう。

本校では右に示した三豊市教育委員会の「地震発生時の対応マニュアル」に基づいて対応します。ご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

### 地震が発生したときの初期対応

（震度5弱以上の場合は、学校に留め置きます）

- ① 児童在校中に地震が発生した時は、ただちに児童に避難行動をとらせ、身の安全を確保します。
- ② 揺れがおさまった後は、第一次避難場所で点呼をし、児童の安全を確保しつつ、学校内外の被害状況の把握に努めます。
- ③ 三豊市内で震度5弱以上の地震であることが分かった場合、引き続き、学校に留め置きます。保護者が、児童を引き取りに来校するまで、児童を学校で預かります。  
【巨大地震が発生した場合、電話やH&Sが使用できないことがあります。その際は、学校からの連絡がなくても、保護者の皆様の判断で児童の引き取りにお越しく下さい。】
- ④ 登下校中に大きな地震が起きた場合は、学校や自宅・指定避難場所等の中で、最も近くて安全なところへ避難します。

### 三豊市(学校組合)立小・中学校の地震発生時の対応マニュアル

#### 三豊市に震度5弱以上の 地震が発生した場合

##### 【児童・生徒が家にいるときの対応】→自宅待機(避難)

- ・震度5弱以上の地震が発生した場合は、自宅待機とする。
- ・生命の安全確保を最優先し、行政（三豊市災害対策本部等）の指示に従って行動する。
- ・自宅待機（避難）の解除は、防災行政無線や三豊市メール配信サービス等を通じて連絡する。

##### 【児童・生徒が登下校時の場合】

- ・大きな揺れに遭遇した場合は、ブロック塀や自動販売機等から離れ、頭部を保護しながら揺れが収まるまで身の安全を確保する。
- ・大きな揺れが収まったら、学校や自宅・指定避難場所等の中で、最も近くて安全なところへ素早く避難する。
- ・学校職員は、児童・生徒の安否確認と地区パトロールを行う。

##### 【児童・生徒が学校にいる場合】

- ・揺れが収まるまで安全を確保する。
- ・教員の指示で、校庭・指定避難場所等に避難する。
- ・安全が確認できれば、防災行政無線や三豊市メール配信サービス等を使って、今後の対応や児童・生徒の引渡し等について連絡する。